



横井 帝之議員(新風)

質問方式
一問一答
「佐野市立小中学校
適正規模・適正配置
基本計画」について

Q 学校規模適正化への基本的な考え方として、クラス替えが可能な規模であること、クラス替えを通じてさまざまな人間関係が生まれ、そこから多様な価値観、学習意欲が芽生えるなど単学級による弊害を取り除くことができる。また、総合的な学習を始め、課題別活動に幅を持たせたり、学校行事等における学級ごとの取り組みなどを生かしたりすることができると。クラス替えができる12学級をぜひ維持していただきたいが、今後の方針を伺いたい。

A 教育総務部長

現在12学級に満たない小学校は26校中20校です。田沼西地区、葛生地区の小中一貫校を整備することにより10校となり、半減します。今後については後期計画で検討しますが、学校の統合、通学区の見直しという2つの方法を各学校、地域の実情に応じて取り入れ、進めていきたいと思っております。

その他の質問

☆佐野市中心市街地
活性化基本計画」について
☆医療的ケア児の保育園においての受け入れについて



▲建設中のプール
(田沼西地区小中一貫校)



木村 久雄議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答
熱中症対策について

Q 近年注目を集める熱中症の予防法では、高温の環境下で深部体温の上昇を抑制することが重要視されている。また、真夏、猛暑日には児童生徒が持参する水筒の中身もすぐなくなってしまう、足らなくなるかと思う。そこで、冷水機を小中学校に設置し、熱中症対策を図っていくべきかと考えるが、市の考えは。

A 教育長

熱中症対策としては、小まめな水分補給は大切です。冷水機の設置以外にも各小中学校では水筒を持参するなど様々な対策を行っています。各学校の規模や環境により、必要となる物品等は様々です。限られた予算の中で各学校の備品の購入をしていますが、冷水機についても今後学校の意見を取り入れて、順次対応してまいります。

その他の質問

☆教育環境整備について
☆医療体制について
☆ひきこもり対策について



▲冷水機



久保 貴洋議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
北関東自動車道沿線
開発について

Q 佐野インランドポートの稼働状況、出流原PA周辺総合物流開発事業の今年度のスケジュール、(仮称)出流原PAスマートIC整備事業の進捗状況、出流原PAスマートICの総事業費と本市の負担する金額を伺いたい。

A 総合政策部長

佐野インランドポートの平成29年度のコンテナの総取扱量は、輸入コンテナが282TEU、輸出コンテナが171TEUでした。出流原PA周辺総合物流開発事業のスケジュールですが、基本計画を策定し、基本設計に向けた開発区域の測量に着手する予定です。(仮称)出流原PAスマートIC整備事業の進捗ですが、平成30年度は詳細設計、現地への用地幅員の設置、用地測量、用地買収に必要な資料作成を行います。出流原PAスマートICの総事業費は約22億円、佐野市が負担する事業費は実質的に約1億6,000万円と見込んでいます。

その他の質問

☆あそ野学園開校に向けての取り組みについて
☆学校給食について

※TEUとは・・・
20フィートコンテナの個数で表す単位のこと。20フィートコンテナ1個=1TEU